

生徒育成方針

本校は、思いやりの「マインド」を大切に、他者と協働して地域を担い、自らの人生を切り拓いていく人材を育てます。

○教育理念

「生きる力を求め、地域を担わんとここに学ぶ」

○教育目標

- ・共に生きる力を養う～自己理解・他者理解を深め、他者と共存していく力を高める
- ・夢をかなえる力を鍛える～問題解決能力とともに、社会性及び人格を向上させる
- ・地域と関わる力を育む～地域への関心を高め、理解し、積極的に関わる力を育成する

○卒業までに育てたい10の資質・能力キーワード

- 1「自主性」 2「思考力」 3「判断力」 4「表現力」 5「忍耐力」
6「規律力」 7「協調性」 8「認知力」 9「適応力」 10「郷土愛」

教育課程編成・実施方針

「学校」と「家庭」と「地域（同窓会・地域と共に歩む会・産官学）」が三位一体となって連携し、以下のような特色を持った教育活動を実施します。

○少人数クラス編成によるきめ細やかな指導体制の充実

3年間を通じてホームルームを少人数で編成し、一人ひとりの生徒に全職員で寄り添う。

○SSST(ソーシャルスキルトレーニング)の導入

各学年で時間を設け、自己理解を深め、他者との良好な関係を築くための知識や技術の獲得。

○コース制による探究的学びの推進

3年次は共通の学習に加え、興味関心や進路希望に応じて2コース3系統から選択し、コース内容に沿って探究的に学ぶ。

《理系探究》

協働して課題を発見し解決する力、柔軟で科学的思考力・表現力の育成を目指すコース

《キャリア探究（ビジネス系・福祉(介護・保育)系)》

実習等の実践的授業を通して、専門的な知識や技術、豊かな人間性を身に着けるコース

○特色ある学校設定教科・科目の開設

1年次は、各教科でマルチタイムとして授業の最初に基礎学力の充実と規律確立のため行う。また、共通科目「福祉のこころ」により、入学当初から福祉マインドを創成する。

2、3年次では、「情報活用能力の育成」に関する科目をコースごとに設定し、様々な情報を主体的に判断し、活用する能力を伸ばす。

○3年間を見通した地域課題解決型キャリア学習の展開

1年次「出会う」、2年次「探究する」、3年次「選択する」をテーマに、社会人となった時に必要となる基礎力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、キャリアプランニング能力）を育成する。2年次「デュアルシステム」（総合的な探究の時間）を行う。

また、地元の「ヒト・モノ・コト」を活かし、他校（幼・小・中・高・大）との交流、福祉保育施設や企業と連携した学習・就業体験、ボランティア活動等の体験的活動を通して、地域の課題を見つけ、解決に向けて取り組む。

○姉妹校である台湾高雄市立新興高級中学校との交流による国際感覚の醸成

生徒募集方針

- 郷土を愛し、将来は良き担い手として地域を支えたいという思いを持った人
- 周囲と協力して自分自身を向上させ、前向きに努力を続けることのできる人
- 挨拶を心がけ、時間や生活のきまりを守ることのできる人